



男女ともにいきいきと生きる

3/11 男女共同参画連絡協議会講演会

男女共同参画連絡協議会(山田安子会長)は3月11日、講師に鎌田實先生を迎えて「男女ともにいきいきと生きる」と題した講演会を豊科公民館大ホールで行いました。

鎌田先生は、今までに出会った人とのエピソードを紹介しながら、在宅医療や障害者とのかわり、子ども、男女、家族、生きることについて講演しました。会場を訪れた約800人の市民は、鎌田先生の穏やかで優しさあふれる話に、聞き入っていました。



カラスの生態を知り、情報共有

3/10 カラスシンポジウム

カラスとの付き合い方をテーマにしたシンポジウム(主催: 県松本地方事務所・NPO野生生物資料情報室)が3月10日、三郷公民館で開催されました。

市内でも近年、カラスによる農業被害や騒音、ふんの被害が問題になっています。

シンポジウムでは、研究者がカラスの生態について講演したほか、市からは明科総合支所市民環境課の担当職員が被害の現状と対策について報告しました。会場には130人の参加者が訪れ、カラスに関する情報を共有しました。

市観光振興の中心として

3/6安曇野市観光協会合併調印式

安曇野市観光協会合併調印式が3月6日、穂高神社参集殿で行われました。

この日は、平林市長の立会いのもと、旧町村ごとにあった観光協会の会長が合併契約書に署名、調印しました。平林市長は、「合併により広域化し、安曇野の良さを満喫していただける体制にしてほしい」とあいさつしました。

3月28日には、市観光協会の事務局を置く穂高総合支所で発足記念式典が行われました。今後は、6月1日に設立総会を開き、観光振興の中心として、地域観光産業の更なる発展を目指し、正式にスタートします。



県内最大規模の商工会が誕生

4/1 安曇野市商工会開所式

市内の5つの商工会が合併した安曇野市商工会(会田二郎会長)の開所式が4月1日、本所となる旧豊科商工会館で行われました。

この日は、合併に向けて協議を進めてきた5商工会長や職員など関係者約50人が参加し、テープカットやくす玉割り、看板の除幕で、会員数が県内で最大規模となる新商工会の誕生を祝いました。今後は、旧町村ごとにあった商工会事務所を支所とし、各商工会ごとにあった部会を中心に事業を行うほか、市と連携しながら会員をはじめ、市内の経済活動の発展を目指します。

新たな一歩

市内の卒業(園)式・入学(園)式

市内の小学校、中学校、保育園で卒業(園)式と入学(園)式が行われました。友だちや恩師と過ごした時間を胸に、新たな旅立ちを祝った卒業式。

春の日差しのもと、新しい生活へ元気いっぱい笑顔が並んだ入学式。

それぞれ新たな一歩を踏み出しました。



健全な農業経営に向けて

3/22 家族経営協定調印式

第2回安曇野市家族経営協定調印式(農業委員会・県松本農業改良普及センター主催)が3月22日、堀金総合支所で開催されました。

家族経営協定は、農業を営む家族の中で、あいまいになりがちな就業条件や経営方針などを取り決めるものです。この日は、新たに2家族が協定書に署名をしました。新規協定家族を代表して、三郷小倉の中島誠二さんは、「健全な経営を目指すことで、農業の振興につなげたい」とあいさつしました。市内の協定家族は、これにより96家族となりました。